
人類の進化とワニ

大輔華子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人類の進化とワニ

【Nコード】

N1459M

【作者名】

大輔華子

【あらすじ】

『200文字コント大会』参加作品です。

内容は『人類の進化とワニ』です。

【華】

【その1】

「こちらワニ園です。今日は爬虫類研究所の方にお話を伺います」

『ワニの祖先種は2億年以上前にも遡ります。ワニが生き残ったのは魚の多い淡水に棲んでいたため恐竜のたどった運命を免れたので』
『す』

「地球規模の歴史を横目で見てきたのですね。故郷の広大なナイルやマングローブの林などを思い浮かべているのでしょうか。先生、このワニは今どんなことを考えているのでしょうか」

『何も考えてません』

「ワニ園よりお伝えしました」

【その2】

「再びワニ園からです。爬虫類研究所の方にお話を伺います。ワニと人との関わり合いについてお聞かせ下さい」

『ワニは人にとって極めて崇高な存在です。このワニは河川の増水期に人の前に姿を現すことから豊穰を司る太陽神の使者と言われ崇められています』

「すごいですね。先程から固まったようにじっとしていますが、このワニは今どんなことを考えているのでしょうか」

『ですから何も考えてません』

「ワニ園よりお伝えしました」

【その3】

「ここはナイル川流域です。人類の生存を託したロケットが発射されようとしています。地球に向かっていている巨大隕石の軌道を核弾頭で変えようという試みです。今まさに発射ボタンに指がかけられました」

『秒読み！3、2、1、発射！』

発射しない！

「どうしてボタンを押さないのですか？」

『ワニが足に噛みついて痛い』

遡ってもせいぜい数百万年程度の歴史しかない人類が、ワニの先祖の恐竜種が絶滅した理由などを述べる資格は無い。

【その4】

エイリアンが宇宙船の扉のすぐ前の通路までせまってきた。

もはや絶体絶命だ。

扉の前にセツトしていた機関銃が火を噴く。

しかしエイリアンはものともしない。

エイリアンの手にかかれば目の前の薄っぺらい扉なども無いに等しい。

エイリアンに乗っ取られた宇宙船はそのまま地球に帰還した。

地球でエイリアンが繁殖したら、もう人類の絶滅は避けられない。

エイリアンはナイル川流域に降り立った。

そしてナイルワニの餌食になった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1459m/>

人類の進化とワニ

2010年10月14日18時03分発行